

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年7月6日

群馬県知事 あて

提出者 〒179-0081
住 所 東京都練馬区北町1丁目8番8号

氏 名 株式会社エクシオテック
情報通信事業本部
社会インフラ本部
本部長 小林 克巳

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5922-2004



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社エクシオテック（太田工事現場）
事業場の所在地	群馬県太田市今泉町665番地先～吉沢町1384-1番地先
計画期間	2022年4月20日～2023年10月12日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：特定建設業 中分類：土木工事業または電気通信工事業
②事業の規模	340億円
③従業員数	826名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・アスコン及びコンクリートがら→破碎→再資源化 ・汚泥→脱水及び中和→再資源化

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

情報通信事業本部 社会インフラ本部 エンジニアリング部長(廃棄物処理統括責任者)

現場代理人(廃棄物処理管理担当)

現場管理責任者(廃棄物処理管理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・施工範囲や施工方法を確認し、廃棄物削減出来ないかを考慮する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・昨年度と同様、がれき類と汚泥が発生する予定である。 今後も昨年度実施した取り組みを継続する。		

産業

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場で発生した産業廃棄物は他のものが混ざらないよう数回に分けての搬出を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も昨年度実施した取り組みを継続する。

現状 令和4年度 実績

別紙

	アスコンがら	汚泥	コンクリートがら	木屑	廃プラ
実績排出量	1632.50 t	39.93 t	172 t	17 t	0 t
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
全処理委託量	1632.50 t	39.93 t	172 t	17 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	1632.50 t	39.93 t	172 t	17 t	0 t

計画 令和4年度 予定

	アスコンがら	汚泥	コンクリートがら	木屑	廃プラ
予定排出量	800.00 t	20.00 t	50.00 t	5.00 t	0.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t
全処理委託量	800.00 t	20.00 t	50.00 t	5.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	800.00 t	20.00 t	50.00 t	5.00 t	0.00 t